

令和 7 年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	08_茨城県
市区町村名	08221ひたちなか市

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
08221ひたちなか市	③学校と家庭 の課題	01 家庭等 における学習習 慣の定着	学校以外で学習を行う習慣が ない児童生徒が増えており、学 校の授業以外の学習支援等が 学校・家庭の共通の課題となっ ている。	市内全ての小・義務教育学校に「ひたち なか未来塾」を設置し、隔週で実施する。	・地域学校協働活動推進員を年間169日配 置する。 ・近隣にある大学や地元の高専との連携を 深め、ボランティアを確保し、放課後にお ける宿題等の学習支援を引き続き実施する。 ・家族との会話が増える取組(振り返りカ ードの実施)	・家庭学習への意欲が高まる児 童が増える。	参加児童へのアン ケート	73	%	80	79	02 本 年度 の目 標値を 下回 り、取 組の 工夫・ 改善 が求め られる ・「ひたちなか未来塾」学習後に振り返りカードを用いてい る。その日に取り組んだ内容を児童が記入し、励ましの言葉 をボランティアが記入をして、家庭に持ち帰る。家の人からも ひと言をもらいながら、その日に取り来んだことや努力したこ と等を家庭での話題にあげることが勉強に関する会話の時 間向上につながったと考える。	https://www.city.hitachinaka.lg.jp/kosodate/kyouiku/1002249/1009431/index.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。